

佐渡市立新穂中学校 学校だより

新穂の穂り

教育目標

やさしく つよく あたらしく

☎22-2067

FAX22-3838

niibo-js@sado.ed.jp

令和2年12月24日

A Iにはできない学びを ～新しい学習指導要領完全実施に向けて～

校長 小沼 泰高

12月4日(金)、「さようならー♪♪」と3年生の歌声が音楽室から校長室に響いてきました。卒業合唱練習が始まっています。新型肺炎が拡大せず在校生と一緒に卒業式を挙げてきたらいいなと願いながら、耳を傾け続けました。卒業に思いを巡らしていたら、これからの社会と新しい学習指導要領が頭に浮かんできました。この指導要領は今の生徒たちが一番活躍する2050年の社会を想定しています。脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現、マニュアルに依拠した仕事はロボットやA Iに替わられるなど様々なことがいわれています。新穂地区はどんな変化を遂げているのでしょうか。具体的なイメージが、なかなか浮かびません。

そのような中、学校では新しい学習指導要領の来年度完全実施に向けた準備を進めています。2050年の社会では、自主性と自発性、新たな価値を創造する力、責任をとる力、ジレンマや緊張関係を調整する力などが必要といわれています。そのため、道徳の時間や特別活動(学校行事・生徒会活動・学級活動)では、異なる価値観や考えとの出会いと、それによって生じる板挟みの中での学びと成長を大切にしています。大流行のアニメのせりふ「全集中!考えろ・考えろ!あきらめるな!」などが飛び交うような学びといたら大げさでしょうか。また、今後は教科の学習を通して社会を考える学びを増やします。例えば新型肺炎に関する数値やグラフが連日報道されていますが、なぜ外出自粛を8割減ずれば感染が減少するのでしょうか。その根拠を明らかにするには、関数の学習で身に付けた知識や技能が必要になります。今年度中に貸与されるタブレットの出番も多くなりそうです。このような学びを現在はN I E(※)で実践しています。

それにしてもスーパー富岳による飛沫のシミュレーションなどのすごさには圧倒されます。関数の計算やグラフをかくスピードと正確さなども、コンピュータやA Iには太刀打ちできません。人間の頭脳はコンピュータやA Iにかなわないのでしょうか。A Iと人間の頭脳を比較した書籍にこんなことが書かれていました。「1582年の本能寺の変で、織田信長を討った武将の名前を書きなさい」という問題があったとします。A Iはこの問題を「1582年に本能寺の変で織田信長を討った武将は〇〇〇〇である」と置き換え、ネット上の膨大なデータを検索するそうです。そして、頻出語である〇〇〇〇(明智光秀)を見つけてくるとか。人間の暗記力ではA Iには到底太刀打ちできません。しかし、A Iにとって明智光秀という名前は明智光秀という文字でしかないそうです。光秀はなぜ信長を討ったのか、本能寺の変によって社会はどうなったのか、私たちが教訓とすることは何かなど、自ら問いを立て、考え、確かめ、意味付けや価値付けをするということは、人間の頭脳だけができることだそうです。

そうしてみると、飛沫のシミュレーション結果もスーパー富岳にとっては意味もなく価値もなく、危険か安全かの判断をしたり、どんな対策を取ればよいかを考えたりするのは人間にしかできないことのようにです。新しい学習指導要領が思考力と判断力を大切にしているのも納得です。

いろいろ書き連ねましたが、今が2050年であるという自覚をもって、眼前にいる生徒たちの教育活動に邁進したいと思います。3学期もよろしくお願ひします。

※NIE(Newspaper In Education): 教育に新聞を。今年度と来年度の研究指定校です。

11月30日(月)に、中間発表会を開催しました。

主体的・対話的で深い学びを育む授業 ～新学習指導要領完全実施に向けて～

当校では、来年度から実施される新学習指導要領の完全実施に向けて、AIにはできない学びを実現するために、以下の三つを目指す生徒の姿として、校内研修を進めています。

【主体的に学ぶ姿】

- 学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組む姿
- 学習活動を自ら振り返り、身に付いた資質・能力を自覚して次の活動につなげる姿

【対話的な学び】

- 多様な表現を通して、生徒同士、教職員や地域の人等と生徒が対話して、自己の考えを広げ深める姿

【深い学び】

- 知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする姿

概要ではありますが、2学期に上記の三つの姿を目指して行った研究授業を紹介します。

松田教諭 3A 国語「付属語 文法への扉」 10月21日実施

本時は助詞の働きについて確認した後、班で協力して助詞を使った文章を作ったり、新聞を使って見出しを考えたりしました。例えば、新聞を使った授業では「バイデン氏□ 有利□」の見出しにある□に当てはまる助詞を考える活動がありました。身近なニュースの見出しに使われている助詞を班で考えることを通して、助詞の働きに気付くとともに、学ぶことに興味や関心をもち姿が見られました。



【グループで考えた文章を確認しています】

高橋教諭 1A 保健体育「マット運動」 10月30日実施

本時はマット運動の単元の最後に位置付けられ、単元を通して磨いてきた技をお互いに発表・評価し合いました。

最初に、自分たちでマットを出し、体育係を中心に体操やストレッチをするなど、主体的に活動する姿が見られました。また、発表会では、発表者は今まで練習してきた成果を発揮するために粘り強く練習する姿や、評価者は採点表をもとに班で話し合いを行うことを通して、自分の考えを広げる姿が見られました。



【自分の技を仲間の前で評価しています】

川岸教諭 1A 理科「光」 11月4日実施

本時は前時に学習した反射の法則を使って、「T字路で事故を防止するために、鏡をどの位置にどのような角度で取り付けたらよいか」という課題を考えました。身近な教材ということもあり、生徒は学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く仮説を立てたり、仮説を繰り返し実験で検証したりする姿が見られました。また、反射の法則を使って、適切な鏡の位置を明らかにすることを通して、知識を相互に関連付けて、より深く現象を理解することができました。



【IT機器を使って前時の復習をしています】

名古屋教諭 1A 国語「古文～竹取物語～」 11月12日実施

本時は、古くから多くの人に親しまれてきた「かぐや姫」を学習しました。かぐや姫の求婚者に対する行動を「やさしいか、やさしくないか」、かぐや姫に求婚をせまる登場人物の行動を「誠実か、不誠実か」という二つの発問を考えました。生徒は発問を自分事と捉え、集中して自分の考えをまとめる姿が見られました。また、班や学級で発表し合うことを通して、考えを広げ、新しい思いや考えを創造したりする姿が見られました。

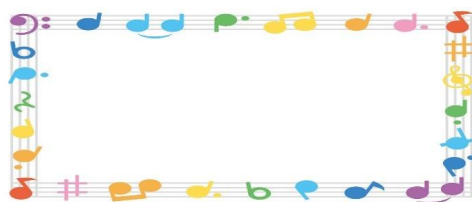


【全体で学級の仲間の考えを共有しています】

また、教科の授業以外でも、総合学習や学活の授業でも校内研修を進めています。

SDGS中間発表会 全校生徒 総合学習 11月30日実施

本時は、SDGs学習の18時間目となり、グループがこれまで調べてきたことや企画内容を発表しました。全校17班が「①差別・不平等」、「②海・ゴミ」、「③水・食・衛生」、「④教育・気候変動」の4つに分かれて発表しました。各班の発表はKP法（紙芝居プレゼンテーション）で行いました。発表後はグループで感想を伝え合い自分の考えを広げたり、企画内容の問題点や代案を出したりするなど、より深く考える姿が見られました。



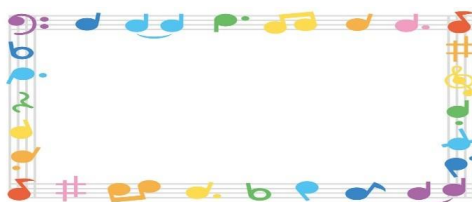
【KP法を使って発表をしています】

仲間づくり集会 全校生徒 全校学活 12月8日、10日実施

生徒会では、11月中旬から12月を「仲間づくり月間」として、各委員会で様々な取組を行っています。仲間づくり集会は本部が企画・運営する全校行事で、今年度は2日に分けて行いました。第一部は「対話の時間」として、新穂中の課題を「p4c」という方法で話し合いました。「p4c」とは、philosophy for children（子どものための哲学）の略で、何を話しても否定されず、誰もが安心して考えを話せることを大切に、様々な視点から考えを掘り下げていきます。円になって疑問を出し合い、ボールを回しながら問いについて意見を述べ合い、皆で一緒に考えていきます。今回の課題は「どうして授業態度が悪くなるのか？どうすれば良くなるのか？」、「先輩と後輩はどう接し合えばよいか？」、「どうすれば時間が守れるようになるか？」について全校生徒が三つのグループに分かれて話し合いました。どのグループも一つの問いに対し、「なぜ、そうなるのか」、「こうしたらどうか」、「自分もそう思う」など、情報を精査して考えを形成する姿が見られました。また、仲間づくり集会第二部（12月10日実施）では、全校縦割り班でのクイズやジェスチャーゲーム、助け鬼を通して、仲間との絆を深める姿が見られました。最後に第一部の対話の振り返りを行い、出された意見を意識して取り組むことを確認しました。



【p4cを使って話し合いをしています】



【全校生徒で助け鬼をしている場面】

立会演説会・投票が終わりました

12月14日(月)に令和3年度生徒会四役を決める立会演説会が行われました。どの候補者も目指す新穂中学校と、実現するための方策を熱く語りました。また、立候補者を支える責任者も、立候補者の人柄や実績、やる気を精一杯伝えました。令和3年度の新穂中学校も、夢と希望にあふれるすばらしい学校になる予感がします。

立候補者が理想とする学校を実現するためには、全校生徒一人一人の力が大切です。全校生徒がより団結し、四役を盛り上げていきましょう。



【立会演説会の様子】

栄光の記録

両津インドアソフトテニス大会 11/28(土)

【中学女子の部】 3位

両津インドアソフトテニス大会 12/5(土)

【中学男子の部】 3位

3位

ソフトテニス下越大会 12/13(日)

【中学男子の部】

新穂中 1-2 豊浦中 惜敗

県新人バスケットボール下越大会 12/5(土)、6(日)

新穂中 対 安田中 60-55

新穂中 対 本丸中 33-109 ベスト8

第51回県ジュニア展

奨励賞

漢字検定合格者

準2級

3級

4級

5級

1月の予定

- 7日(木) 始業式
心の健康チェック(～13日)
- 9日(土) 立志元服式(昼食持参)
- 12日(火) 振替休日
- 13日(水) ALT 代表委員会
- 14日(木) 3年生実力テスト
- 16日(土) 医療福祉大バレー教室
- 18日(月) 専門委員会
- 19日(火) 部活動集会
- 22日(金) 英語検定
- 23日(土) テニスインドア選手権大会
- 25日(月) ALT NRT①
3年三者面談
- 26日(火) NRT② 3年三者面談
- 27日(水) 3年生新研究テスト
1、2年生スキー授業

新穂中HPを随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。

<http://niibo-js.sado.ed.jp>

1. 2学期と新穂中学校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。新年もよろしくお願いたします。

